

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	運営推進会議にて防災対策の議題を取り上げ、消防署や自主防災組織の委員から参加してもらい意見を頂いているが、まだ実践に至っていない。	運営推進会議ででた意見を参考に、地域住民の参加、協力を得た災害対策の実践が出来る。	地域住民の参加を得て訓練を行い、避難経路の確認、消火方法、避難の具体的な方法の確認ができる。	12ヶ月
2	6 (5)	日常のケアの中で無意識に出てしまう言葉による行動制限について、全職員で共通認識にまで至っていない。	日常のケアの中で、無意識に出てしまう言葉による行動制限について、全職員で共通した認識となるような工夫をし、全職員で共有してケアに活かす事が出来る。	毎日のカンファレンスの中で、気づいた行動制限に繋がる言葉かけを上げ、替わりの対応方法を考えていく。 月に1回まとめ、1回/月のスタッフ会にて全職員で共有し、ケアに活かせる様に話し合いをしていく。	12ヶ月
3	33 (12)	重度化に伴う意思確認、主治医の協力体制の確認を全利用者には行っていない。	全利用者に対して重度化に伴う意思確認をとり、各利用者主治医に協力体制の確認する。マニュアルを活用し、ホームとしてどこまで対応できるか定期的にスタッフ会にて話し合いをし、全職員で共有する。	面会の機会を利用して再度全利用者(家族)に対して重度化に伴う意志の確認をとり、それぞれの主治医に確認をとる。半年に一回はスタッフ会にてマニュアルを基に話し合いをし、出来る事、出来ない事の共通認識を持つ。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。